

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市市名坂児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・ 令和3年度 18,977人（前年度比 124.2%） ・ 令和2年度 15,278人 ・ 令和元年度 24,053人	
	《事業》 ・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 42,913千円 (38,951千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。施設内外の環境美化にも努めており、特に児童館フェンス沿いに飾られた季節の鉢花は地域からも好評である。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》
<p>「笑顔がいっぱい」「仲間がいっぱい」「支えあいがいっぱい」のスローガンの浸透を図りながら、利用者・クラブ児童・職員間に具現化することを目指して児童館運営に努めた。コロナ禍の影響で、中止せざるを得ない事業も多かった。感染ゼロを最重要課題とし丁寧な感染対策を施しながら、可能な事業を創意工夫し実施してきた。</p> <p>子育て支援事業では、転勤族、核家族世帯の多い地域の事情を踏まえ、乳幼児親子同士の交流と育児の悩み相談や身体を動かすストレス発散の場となるような行事や居場所作りに特に配慮して計画してきた。コロナ禍により行事の自粛及び利用の制限のある中、乳幼児親子の穏やかな笑顔が広がる行事や時間を提供できた。</p> <p>児童クラブは登録児童148名でスタートし、学校と良好な連携協力の下、隣接する自然豊かな「学校の森」を活用し、豊かな遊びや自然体験をさせることに努めてきた。今後の大きな課題としては自由来館児童の利用促進があげられる。</p> <p>地域交流事業は市民センター始め地域の子育て支援事業がすべて中止となり参加貢献はできなかった。通り沿いには四季折々の花を飾り、昨年度に続き、学校の森灯りファンタジーとともに、地域の方々から大いに喜んでいただいた。</p> <p>利用者・児童・保護者アンケートでは高評価をいただき、貴重なご意見は今後活かすことにしている。</p> <p>今後も子ども達や利用者の笑顔が各家庭のリビングや地域に広がり、地域の皆様に愛される児童館をめざし職員一同取り組んでいきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置などの発令があったが、児童クラブに関しては、年間を通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部休止していたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、季節行事や集団遊びを通じた異年齢交流をねらいとしている「いちなじ広場」が年間を通して多彩な内容で行われた。また、恒例のお正月行事「がきんちよ冬楽好」では、「七北田方言防災かるた大会」を開催し地域の文化に触れながら防災について学ぶ場を提供した。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、登録制の幼児クラブ「カリメロクラブ」が月1回行われ、季節の行事や運動遊び、工作など様々なプログラムを提供し、地域の子育て家庭を支援している。また、「びよびよサロン」は関係機関と連携し親子ヨガなどの触れ合い遊びや、職員が子どもの見守りをしてヘアゴム作り、フラメンコなどの母親のリフレッシュの場と参加者の交流の場を提供している。</p> <p>地域交流推進事業においては、「学校の森灯りファンタジー」や「Thank you 1000球」など近隣の保育園、学校、子ども達、地域の方々が高齢者を通して児童館に集い、世代間交流が図られた。地域と連携した協力体制のもと充実した事業を展開し子どもが地域と関わりながら育つ環境作りに努めており評価できる。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、ミニ田んぼで米作りなど豊かな自然環境を生かした様々な活動が行われている。また子どもの様子を保護者に伝えるツールとして玄関前にモニターを設置し、スライドショーを流し、保護者に様子を伝え安心して子育てと仕事を両立できるよう支援している。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課